

資料1 熱海地区の津波対策（課題と対応策）（第1回・第2回地区協議会のまとめ）

第3回地区協議会資料
(平成28年12月21日)

開催日		H27. 7. 30地区協議会（第1回）		H28. 1. 26地区協議会（第2回）		
分類		意見		意見		
堤防施設	L1以上	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・全線7.0m ・津波を湾全体で受けるようにする ・高さ：7m ・範囲：全海岸沿い ・基本は景観をこわさない様 ・統一 7m 高い方が良い ・現在の位置で7m確保 ・景観に配慮しても実現が可能 	(県) ・地元との合意形成がとれれば、L1津波高さに対する堤防の整備を検討できる。 ・堤防の高さについては、地元との合意形成により、L1津波高さに対する必要堤防高以下の高さに決めることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【参考】 レベル1津波高さ T.P. +7.0m サンビーチ背後現況 T.P. +6.0m 既存デッキ現況 T.P. +6.6m 和田浜南現況（路面）T.P. +2.0m～ </div>	
		サンビーチ～既存デッキ～4工区	<ul style="list-style-type: none"> ・中央部東海岸部は7mが良いと思うが和田浜部は後の旅館もあるので難しい ・マリンスパまで7m マリンスパから先は判断出来ない 			<ul style="list-style-type: none"> ・堤防を7mで整備 マリンスパまで
		既存デッキ～4工区	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防高7m ムーンテラス～マリンスパ前まで7m ・現況で6.6m 階段2段くらい ・デッキのかさ上げは実現可能な案 ・7m 6.6→7 			
	現況～L1未満	サンビーチ～既存デッキ	<ul style="list-style-type: none"> ・7mは高すぎる 半分程度では 観光都市の意味あり ・高さ 防潮堤6m60cmに 			<ul style="list-style-type: none"> ・マリンスパ前（渚4工区）の工事を早急にやってほしい ・和田浜南は景観に配慮した高さで整備 ・ソフト対策だけではなくハード対策も必要 ・0mか7mかではなくその間でも出来る範囲で整備をして欲しい、位置は前面 ・1.0～1.2mの高さで ・フェリー乗り場付近には海上の船などが押し寄せてくる→国道への影響 ・和田浜南は地元の意見をきいては ホテルや漁協の人たちが主 ・地区の町内会、ホテル関係者と話し合う ・サンビーチ～渚デッキまでは現況高さのまま（離岸堤・砂浜があるので）
		サンビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・6.0m→6.6m 			
		4工区	<ul style="list-style-type: none"> ・渚4工区の整備 ・未整備の箇所についてはすでに整備済の箇所と合わせると良いと思う ・コースタル第4工区 早期完成を この地区が弱い 			
	現況のまま	サンビーチ～既存デッキ	<ul style="list-style-type: none"> ・現況 ソフト対策 強化 ・現況の高さ 避難しやすくすることに重点を ソフト対策 ・現況で良い ・現状のままが良い ・避難する為に海が見えた方が良い 			<ul style="list-style-type: none"> ・デッキ部分 6.6m（現況高）
		既存デッキ	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ現況6.6mに合わせる ・高さ 現況6.6m ・現在の高さ6.6mあり 経費を掛けて7mにするのはどうか ・防潮堤 高さ十分と考え ※(渚小公園) 現況で良い ・現況で良い 景観上又観光上必要なし ソフト面で考えて 			<ul style="list-style-type: none"> ・下水処理場自体が避難所となるように整備する ・下水処理場は守る（堤防整備） ・浄水場付近は眺望に問題ないので施設を守るためにも護岸で囲む
		和田浜南	<ul style="list-style-type: none"> ・和田浜南地区は現況のまま ・下水道用地護岸の所を上げる ・客船待合所周辺景観に沿うように ・浄水管理センターの保護 ・現況で処理場前は7m必要 1Fに槽がありポンプがダメになる 			

開催日		H27. 7. 30地区協議会（第1回）	H28. 1. 26地区協議会（第2回）	
分類		意見	考えられる対応策	意見
堤防 施設	水門整備	<ul style="list-style-type: none"> 各河川に水門を ※河川の河口に水門を設置 和田川、初川、糸川 水門 遠隔操作 糸川、初川、和田川 水門 7m 6.6→7 水門でデッキをつなぐ 川は水門 河川(水門)：しゃ断式 	(県) <ul style="list-style-type: none"> 堤防の整備にあわせて、二級河川への水門設置を検討できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3河川の水門整備 水門をつくる（マリンスパまで） 河川、河口、水門整備（スカイデッキ～渚デッキ）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 離岸堤の高上により背後高は現状のままでよし 防波堤の整備により（延長 250m）防潮堤高を下げることも可能 既設の陸間の電動化を 		
ソフト 対策	全体	<ul style="list-style-type: none"> 既設の建物を利用して避難をする 避難タワーを市の土地に作る。 糸川沿いトルコの堤（現在駐車場） 津波避難ビルを増やす モニュメント型の避難タワー欲しい 住民+観光客の避難 波高計の設置 	(市) <ul style="list-style-type: none"> 津波避難計画及びハザードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> サンビーチ避難場所がない 避難路整備（デッキ、歩道橋） サンビーチ周辺のホテル等の意見を聞いてみる 暗いときの避難路の表示
	和田浜南	<ul style="list-style-type: none"> 和田浜南地区避難体制を整備する 海岸から急しゅんな地形で避難可能 		<ul style="list-style-type: none"> 和田浜は整備せずに避難ビルにて対応 待合所等の屋上を避難スペースとして活用 和田浜南 堤防よりも避難路 和田浜南 (国)135号に上がる階段
その他		<ul style="list-style-type: none"> 津波深水高と景観を考慮して（コストも含め） 遡上のシミュレーションを詳細に 		